



同友会の活動
はこちらの
QRコードか
らご覧いた
だけます。▶



2024年
4 月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

幹部社員に求められることを 正しく理解する

2023 幹部社員（及び幹部候補）研修会



二月十五日（木）・二十二日（木）の二日間、テクノプラザおおたを会場に「幹部社員（及び幹部候補）研修会」を開催。研修の目的として「幹部社員に求められること（能力・役割・

責任）を正しく理解する」を掲げ、受講者・経営者合わせて三十六名が参加しました。一日目は「幹部の役割を理解する」をテーマに実施。山崎委員長の開会挨拶（期待と問題提起）に続き、「あな

たの思うダメ幹部」のグループワーク（大塚氏）や「幹部として知っておきたい財務の話（町田氏）」「サラサラ伝わる情報共有（中西氏）」「改善習慣と人材活用・育成の重要性（高屋敷氏）」「部下育成に必要なスキル・心構え（阿久戸氏）」の講義

と、幹部社員に必須となる内容盛りだくさんのプログラムで行われました。

一日目の最後には、一週間後に開催される二日目に向けて、一日目の講義を受けての実践課題、あるいは二日目の講義に対する事前課題が提起されました。二日目は「幹部として自ら考え、行動する」をテーマに実施。一日目の振り返りと実践課題の共有を皮切りに、「幹部とは憧れる魅力的な役職（吉池氏）」「エッセンシャル思考＋クリティカルシンキング（山崎氏）」「経営指針にどれくらいコミットしているか（山崎氏）」「アンコンシヤス・バイアス&合意形成（齋藤氏）」の講義と、それに合わせてグループ討論やワークが行われました。

二日間の総仕上げとなる「シェアリング」の時間では、研修会参加前の課題、研修会での学びを課題解決にどう活かすかを各グループで率直に意見交換。適宜、経営者も意見交換に

加わりながら、今回の研修会をより有意義にするための具体策が話し合われました。

共育委員会では「経営者と社員が共に学び、共に育ち合う」を基本に、年間を通じて各階層の社員を対象にした研修会を企画・開催しています。多くの会員企業のご参加を心よりお待ちしております！



能登半島地震支援金に関して

2024年1月1日午後4時10分頃、石川県能登地方を中心に最大震度7の地震が発生し、深刻な被害をもたらしました。被害に遭われた皆様には心からお見舞い申し上げます。

群馬同友会では、被害に遭われた地域や同友会、会員企業に対して少しでも力になればと、1月理事会で同地震に対する支援を決定し、支援金の募集に取り組んで参りました。

3月15日までに群馬同友会に寄せられた支援金は「2,821,171円」となりました。ご支援いただきました皆さま、まことにありがとうございます。

お寄せいただいた支援金につきましては、中小企業家同友会全国協議会（中同協）を通じて被災地同友会へ提供（会員企業の復旧・復興等を支援）するほか、復旧・復興に関する事務局の人的支援等に活用されます。



東京同友会提供

女性経営者、社長夫人など立場の違う人同士、同じ境遇の人同士が交流し、様々な角度から学び合える場を作り活動する鶴の花部会では、三月十一日（月）、前橋市中央公民館を会場に「鶴の花部会ってどんな部会？」と題し「立ち上げ三年の活動報告」と題してオープン例会を開催しました。

部会設立の経緯や準備会の立ち上げから今日に至るまでの活動を振り返り、勉強会やオープン例会のテーマと得られた学びを解説しました。また、二チー

ムに分かれて勉強会の企画・運営を行った今年度の活動については、それぞれの設営チームが担当し、学びと成果を振り返りました。

活動報告後には「ネクストステップどうする？」とのテーマでグループ討論を行い、自身（自社）のネクストステップの話題はもちろん、部会の方向性や学びたい経営課題などを出し合うことで、討論テーマの通り次年度へ向けて踏み出す準備を模索する討論となりました。

立ち上げ3年の活動報告

鶴の花部会勉強会



限りある資源を、次世代へ。

株式会社エスピーエム
Stability Topline Business Co., Ltd.

経営理念 (存在意義・目的) 「絶やさぬために」

私たちは、動脈・静脈の循環型物流力で、人と社会の生命活動を支え続けます。

〒379-2123 群馬県前橋市山王町1-19-14 TEL: 027-212-3312 FAX: 027-266-8288

アルミ精密部品の切削加工メーカー

株式会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします！

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059
URL : <http://www.apm-f.com> E-mail : fuse@apm-f.com

日帰りバスツアー

二月八日(木)、渋川吾妻支



渋川吾妻支部2月例会

部2月例会として「日帰りバスツアー」を開催。ローランド観光バス(株)(蜂巢社長/同支部)のアテンドにより、横浜中華街と横須賀軍港めぐりなどを楽しみました。

朝七時三〇分、ローランド観光バスの駐車場を出発し、一路横浜・横須賀方面へ。車内はさながらグループ討論の様相を呈し、あつと言う間に横浜中華街

へ到着。四川料理の老舗「重慶飯店」での昼食やショッピングを満喫しました。その後、横須賀へ移動し、ドブ板通りの散策と軍港めぐりを楽しみ、帰路につきました。帰りもやっぱりグループ討論だったのは言うまでもありません。

参加者は大満足のバスツアーとなりましたが、人数が少なかつたのは課題。後日の運営委員会では「次に企画する際は視察や研修などを旅程に組み込み、より同友会らしく学びに繋がる内容に」という意見で一致しました。

「歩ずつ成長

前橋支部2月例会

前橋支部では、二月二十一日

(水)、前橋市中央公民館を会場に支部例会を開催しました。「一

歩ずつ成長〜創業からの苦悩を乗り越えたストーリー〜」と題して、Nicorollu代表、渡辺真由美氏(鶴の花部会長/太田支部副支部長)が、これまでの経営体験を報告しました。

これまでの歩みを「開業、独立、使命・試練、成長、拡大」

の五つに分けて紹介した渡辺

氏。ゼロからイチを生み出す決断力と行動力が印象的でした。

さらに「苦勞も失敗と同じで、課題なので改善すればいい。ビジョンを達成する事しか見えない」と語る姿からは、さらなる拡大のビジョン達成もそう遠くないと感じさせる報告となりました。

参加者アンケートには「創業

からの展開が早い。勢いを感じる」「前向きに諦めず努力を続ける姿勢を見習いたい」「自分を信じて積極的に行動する事が経営者として大事」といった感想が記されていました。



職人親子、38年の歩み

桐生支部2月例会



二月二十八日(水)、桐生市職

業訓練センターを会場に「桐生支部2月例会」を開催。電気設備、空調設備の設計・施工を手掛ける(有)岡田電気設備・岡田隆宏氏(桐生支部)が「職人親子、三十八年の歩み〜同友会に参加

して気づいた自分の課題〜」をテーマに報告しました。

岡田氏は、自己紹介や入社経緯の説明に続き、同友会への参加、特に徳井塾(支部の小グループ活動)を通して気づいた自身の課題や変化を紹介。続けて「今のままでは会社はおろか自分の人生すら全うできない」とい

う危機感、「父親も七〇才目前。

事業承継に向けた学びと行動を起す」という後継者としての覚悟を語りました。また、随所で父親(社長)との関係性にも触れ、岡田社長を良く知る会員にとって、微笑ましいエピソードの数々が語られました。

その後は「報告者への提案やアドバイス、期待すること」をテーマにグループ討論。岡田氏の報告が予定より短くなってしまったものの、それを補って余りある提案やアドバイスが各グループから出され、いつも以上に温かい雰囲気例会となりました。

公開コンサルで 経営課題を浮き彫りに

高崎支部2月例会

二月二十六日(月)、高崎市

総合福祉センターを会場に「高崎支部2月例会」を開催。レイアクリス化粧品、代表・千保木桂子氏、(株)skyマネジメントコンサルテイング、代表取締役・鈴木智統氏の二名(いずれも高崎支部)が報告者を務め、「今年、あなたは何に取り組みますか?」公開コンサルで経営課題を浮き彫りにする」をテーマに、千保木氏の現状をもとにした対話形式の公開コンサルを行



いました。

千保木氏は、自己紹介と商品紹介に続き、売上減少に苦しむ現状を説明。それに対し鈴木氏が、各種経営数字をストラック図に当てはめ、必要な利益や売上高、商品販売数などを解説しました。「自分が惚れ込んだ自信のある商品」と語る千保木氏。その思いをいかに集客に繋げられるかが課題であることから、見込み客・新規顧客の発掘や既存顧客へのアプローチを中心に対話が展開されました。

報告後のグループ討論は「各社の課題は何ですか?今年取り組む目標は?」をテーマとし、千保木氏の経営課題を自分事として考える形式で実施。とはいえず千保木氏の経営課題をどう解決するか?が話題になるグループがほとんどで、グループ発表でも千保木氏への具体的な提案やアドバイス、温かいエールなどが多数出されました。

成長する人しない人の 差は何だろう

太田支部2月例会



太田支部では、二月十六日(金)、テクノプラザおたを会場に「成長する人しない人の差は何だろう?」学びの実践!〇〇が成長の鍵!」と題して支部例会を開催しました。

は「例会での学びや気付きだけではなく、人との出会いが成長のキッカケになった」など、活用事例を交えながら具体的な成果や成長にまで話が広がりました。

今年度の支部スローガン「経営課題解決のために、同友会を使い倒そう」を振り返るため、同友会を活用し、成長し続けている四名のパネルディスカッションを実施。パネラーは、(株)マテハン・島山淳氏、(有)神保商会・神保豊氏、(株)総合環境分析・中村和弘氏、Niccoliu・渡辺真由美氏。

グループ討論では「どうアウトプットしていくか?」のテーマで意見交換を行い、参加者からは「成長のためには意識・環境・主体性といった多くのポイントがあり、それらへの気付きが大切」など、アウトプットしていきたいという前向きな意見が上がっていました。

(文:渡辺真由美/太田支部)

電子帳簿保存法・インボイス制度対応

統合型クラウド財務管理システム

KEEPERClub

同友会 高崎支部会員 株式会社 シスプラ ☎ 0120-638-377



軽量鉄骨システム建築 プレハブハウス

用途に合わせて自由設計、コスト削減(事務所、店舗、倉庫、他)

プレハブパネル工法は規格部材を工場生産 経済性に優れ、短工期

株式会社 三栄工業

〒378-0002 群馬県沼田市横塚町 896-2
TEL. 0278-20-1110 FAX. 0278-22-2102
URL <http://kk-sanei.net/>

青年部10周年記念式典

青年部3月例会

三月十三日(水)、アメイジンググレイス前橋を会場に「群



馬同友会青年部創立十周年記念式典」を開催しました。当日は県内青年部メンバーをはじめ、関東甲信越の他県同友会青年部長・メンバーも参加し式典を盛り上げました。

式典では、これまでの青年部活動をまとめたスライドショーが上映され、十年の活動を写真で振り返りました。また、当日参加した歴代青年部長の島山氏

(初代)、阿久戸英男氏(三代目)から、当時の思い出と青年部への期待が語られ、都合で参加できなかった杉崎氏(二代目)、布施氏(四代目)、山崎氏(五代目)からは、事前に預かったメッセージが代読されました。その後は乾杯を挟み、関東甲信越の各青年部長からお祝いの言葉をいただきながら、各テーブルそれぞれ懇親を深めました。六月一日(土)に山梨で開催される「第十回関東甲信越青年経営者フォーラム」を前に、より一層青年部の絆が強くなる記念式典になりました。

社員一人一人が自ら考えて行動する人財育成方法

富岡安中支部2月例会

富岡安中支部では、二月十六日(金)、富岡公民館を会場に支部例会を開催しました。「社員一人一人が自ら考えて行動する人財育成方法」と題して、群馬同友会共育委員長の(有)山崎製作所・代表取締役、山崎将臣氏(高崎支部)が委員会活動の紹介と実践報告を行いました。

富岡安中支部では、二月十六日(金)、富岡公民館を会場に支部例会を開催しました。「社員一人一人が自ら考えて行動する人財育成方法」と題して、群馬同友会共育委員長の(有)山崎製作所・代表取締役、山崎将臣氏(高崎支部)が委員会活動の紹介と実践報告を行いました。



富岡安中支部では、二月十六日(金)、富岡公民館を会場に支部例会を開催しました。「社員一人一人が自ら考えて行動する人財育成方法」と題して、群馬同友会共育委員長の(有)山崎製作所・代表取締役、山崎将臣氏(高崎支部)が委員会活動の紹介と実践報告を行いました。

沼田支部では、二月二十八日(水)、利根沼田文化会館を会場に、(有)ノームランド高橋・代表取締役、高橋宣明氏が「農業経営と開拓魂」その目にうつるモノは」と題して、これまでの経営と自身が考える経営についての報告を行いました。高橋氏は事業承継以降の売上と利益の推移を紹介し、社長になっても売上が減少し、社員も離れてしまった事から社内を立て直す事に集中した過去を振り返りました。しかし売上げが戻ったものの利益が出ていない事から経営スタイルに疑問を持ち、コンパクトに売上げを上げて利益を出す方向に考え方を変えたと言います。さらに一番利益率

農業経営と開拓魂

沼田支部2月例会



沼田支部では、二月二十八日(水)、利根沼田文化会館を会場に、(有)ノームランド高橋・代表取締役、高橋宣明氏が「農業経営と開拓魂」その目にうつるモノは」と題して、これまでの経営と自身が考える経営についての報告を行いました。高橋氏は事業承継以降の売上と利益の推移を紹介し、社長になっても売上が減少し、社員も離れてしまった事から社内を立て直す事に集中した過去を振り返りました。しかし売上げが戻ったものの利益が出ていない事から経営スタイルに疑問を持ち、コンパクトに売上げを上げて利益を出す方向に考え方を変えたと言います。さらに一番利益率

また、自身と社員との関係にも言及し「正解を求める行動ではなく、どう正解に向かって社員と一緒に行動するか」という考え方に変わったとして「利益は社員との関係のパロメーター」であると語りました。参加者アンケートには「自社の適正規模を考えさせる内容だった」「経営について様々な角度から学び続ける姿勢に感銘を受けた」「社員との良好な関係構築のためグッドサイクルを意識していきたい」といった感想が記されていました。

「借り過ぎから融資実行」

伊勢崎支部・埼玉北部支部合同例会

二月二十日(火)、AREA 358を会場に「伊勢崎支部・埼玉北部支部合同例会」を開催。本合同例会は年に一度の恒例行事として、回を重ねること十三回目。「もう出せません」からの融資実行(四度の倒産危機を

乗り越えて)と題した(株)シリ、代表取締役・清塚徹氏(渋川吾妻支部)の経営体験報告と合わせ、同社の資金繰り支援に携わった(株)skyマネジメントコンサルティング・横須賀巧哉氏(同支部)が、その舞台裏を解説しました。



バブル崩壊、一社依存、新分野展開、新型コロナ、四度に及ぶ倒産危機を乗り越えた経営体験を赤裸々に語った清塚氏。特に「資金繰り」に関する生々しいやりとりを振り返りつつ、直近のピンチ(コロナ禍)を乗り越えた経営実践の詳細を紹介しました。また、横須賀氏の解説では、清塚氏のバイタリティーや人間性に触れながら、同社の売上高や手



持ち資金、売上構成比などの推移を説明。清塚氏の「五回目のピンチも来るなら来いという感じ」に対し、横須賀氏が「できれば五回目は勘弁してほしい(笑)」と切り返すなど、両者の信頼関係を物語る一幕もありました。報告後は「今後のピンチにどう対処するか?」をテーマにグループ討論を実施。その後の懇親会を含めて、支部・県の垣根を超えた活発な意見交換や交流が図られました。

群馬中小企業家同友会【第52回定時総会】

●記念講演

「お客様と地域に愛される
安心と満足のブランドを目指して」
～5坪のラーメン店から上場企業へ～



講師 (株)ハイデイ日高 代表取締役会長 神田 正氏

●開催概要

- ◆日時：2024年 **4月18日(木)** 13:00受付 13:30～19:30 (予定)
- ◆会場：プラザ・アリア
伊勢崎市喜多町147-1 TEL 0270-25-0606
- ◆参加費：1,000円 (交流会まで出席は5,000円)
- ◆対象：会内外の経営者及び幹部社員
- ◆主催：群馬中小企業家同友会

《主なスケジュール(予定)》

- 13:00～ 受付
- 13:30～ 第1部 総会議事
- 15:00～ 第2部 記念講演
- 18:30～ 第3部 交流会

会員たんしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【SDGs 理解と人材育成で協定】

共愛学園前橋国際大学

共愛学園前橋国際大学（学長・大森昭生氏／前橋支部所属）と群馬日産自動車などをグループに持つGNホールディングス（前橋市）は22日、「SDGs次世代人材育成協定」を結んだ。社員らがSDGsについて講義する授業を同大に新設するほか、同大で始めるカーシェアリング事業の構築に学生が参加する。

協定の期間は4月から3年。同大は地元企業と学生の交流や、ビジネス実践の機会などを通じた人材育成を目指す。授業は同社が貸与する電気自動車（EV）5台を活用し、EVについて学んだり、学生や教職員目線を使いやすいカーシェアを考えたりすることを想定している。 [2/23付上毛]

【前橋・片貝支店を移転】

しのめ信用金庫

しのめ信用金庫（理事長・横山慶一氏／富岡安中支部所属）は26日、老朽化した前橋市西片貝町の片貝支店を旧店舗東の隣接地に新築移転し、開店した。

新店舗は鉄骨2階建てで、延べ床面積は約690平方メートルと大幅に拡張した。外観は高原のカフェをイメージし、店内は高い天井で窓口や待合の空間を広く確保した。窓口は大半を座ってゆっくり相談できるローカウンターに一新。全自動貸金庫155庫や授乳室なども設けた。 [2/27付上毛]

【11月10日はカリカリ梅の日】

赤城フーズ(株)
村岡食品工業(株)

全国トップクラスの製造量を誇る「カリカリ梅」を盛り上げようと、県内の加工メーカー5社でつくる「群馬の梅を応援する会 うめのわ」は28日、11月10日を「カリカリ梅の日」として登録したと発表した。

カリカリ梅の日は、独特の食感を表す「いい(11)音(10)」が由来。県内で開発されたカリカリ梅が1971年11月に発売されたことにちなんだ。

本県は和歌山県に次ぐ国内2位のウメ生産量を誇り、カリカリ梅加工は全国トップクラスにあるものの、ウメ産地としての全国的な知名度は低いという。ブランド化を図ろうと、加工メーカーの村岡食品工業(株)（専務取締役・村岡建志氏／前橋支部所属）、コマックス、赤城フーズ(株)（代表取締役社長・遠山昌子氏／前橋支部所属）、梅吉、大利根漬が2018年に同会を結成し、今年1月に日本記念日協会から認定を受けた。 [2/29付上毛]

【日本農業賞 夫婦で最高賞】

須藤牧場

第53回日本農業賞「個別経営の部」で、前橋市の酪農家、須藤晃さん（須藤牧場・代表／前橋支部所属）と妻の淳子さんが最高賞の大賞に輝いた。本県の大賞受賞は2015年度以来8年ぶり。市内耕種農家との耕畜連携を深め、地元で生産された飼料を積極的に使用するほか、家畜にとってストレスの少ない飼育環境を目指す「アニマルウェルフェア」の推進といった取り組みが評価された。須藤さんは「円安や国際情勢を背景に穀物が高騰し、国産飼料の注目が高まっている。大変な時期もあったが、取り組みが認めてもらえてうれしい」と喜んでいる。授賞式は9日、東京・NHKホールで開かれる。 [3/1付上毛]

【食ベチョコクの最高賞】

かがやきいちご園

大手産直通販サイト「食ベチョコク」のイチゴ品評会「食ベチョコクいちご博」が東京都内で初めて開かれ、かがやきいちご園（代表・齋藤大輝氏／伊勢崎支部所属）の県有成品種「やよいひめ」が最高賞の総合大賞に輝いた。

齋藤代表は「きれいでおいしいイチゴを目指してきた。全国の品評会で認めてもらい、跳び上がるほど

うれしかった」と喜んだ。他の県内生産者のやよいひめも複数入賞しているとして「品種の知名度を上げて、群馬のイチゴを全国でブレイクさせたい」と意気込んでいる。 [3/1付上毛]

【採択5事業者 成果発表】

(株) Sunset films

創業間もない事業者を支援する「ぐんまスタートアップアクセラレーションプログラム (RAITO) 2023」(県主催)の成果発表会が1日、県庁で開かれた。五つの採択事業者が昨年10月から5カ月間、事業を磨き上げてきた成果や展望を発表した。

映像制作などを手がける(株) Sunset filmsの井埜涼大代表（高崎支部所属）は、安中市と連携し30日に営業を始めるナイトウォーク事業を紹介した。音楽や照明の演出などで夜の廃線歩きをブランディングし、新たな観光コンテンツを創出した実績をアピール。今後シリーズ化し、別の場所でも展開する構想を明かした。 [3/2付上毛]

【端材使い女性健康用品】

(有)スワコーポレーション

ウレタン加工業の(有)スワコーポレーション（代表取締役・諏訪康彦氏／伊勢崎支部所属）は、端材を使い新たな商品を生み出す「アップサイクル」に取り組む。軽い上に高い伸縮性や耐衝撃性がある特徴を生かしたトレーニングクッションを開発。産業廃棄物を活用した商品開発も展開する。

硬軟のウレタンを組み合わせた独特の構造で筋力低下を予防し、産後ケアや尿漏れなどの悩みに役立ててもらおう。諏訪社長が運動指導を受けた、日本トレーニング指導者協会公認運動指導者や理学療法士が開発に協力した。座ると背筋が凜と伸びることから「すわりん」と名付け、1月から販売している。 [3/7付上毛]

【PCで受験 土日も開設】

中央カレッジグループ

専門学校9校を運営する中央カレッジグループ（代表理事長・中島利郎氏／前橋支部所属）は、コンピューター(PC)を使った試験方式「CBT」のテストセンターを同町の群馬法科ビジネス専門学校3号館に16日開設する。土日開設が特徴で、仕事で休めない社会人などの需要を取り込む。同グループは「コロナ禍を経て、CBTでの受験希望者は増加傾向にある」とし、初めて同センターを運営。初年度は延べ4千人、2年目以降は延べ6千人の利用を見込む。 [3/8付上毛]

【相談3年で4倍に】

(一社) ヤング・アシスト いっほ

児童養護施設や里親家庭から離れた「ケアリーバー」の自立を支える県のアフターケア拠点で、当事者からの相談件数が右肩上がりが増えてきている。2019年度に約1200件だったが、22年度には約4700件と4倍近くに急増。拠点の認知度向上などが要因とみられる。

アフターケア拠点の名称はヤング・アシスト いっほ（(一社) ヤング・アシスト、理事・山岸有香氏／前橋支部所属）。専門スタッフが金銭や行政手続き、職場環境など、施設退所後の幅広い悩みに対面や電話、通信アプリ「LINE(ライン)」などで応じる。

相談の増加や、身近な場所で相談したいといった利用者の声を受け、県は支援体制を強化する。新年度にいっほ職員を1人増やして西毛と東毛にそれぞれ月2回ほど派遣し、対面相談に応じることを目指す。 [3/14付上毛]

【組織変更】

石原労務管理事務所、代表・石原慎二氏（伊勢崎支部所属）は、この度、「社会保険労務士法人 伊勢崎経営労務」に組織変更しました。

【代表取締役社長就任】

(有)クリハラフーズ、取締役工場長・栗原伸悟氏（伊勢崎支部所属）は、この度、「代表取締役社長」に就任しました。

第11回
理事会報告

日時 三月五日(火)

※今回も同友会事務所とオンライ
ン併用のハイブリッド開催
となりました。

出席者(順不同・敬称略)

正副代表理事/田村、町田、吉
池、理事/小坂橋、山崎、提箸、
本多、小林、佐藤、高屋敷、渡辺、
小池、鈴木、周藤、神保、金子、
池沢、佐藤、齋藤、岡田、阿久
戸、関口、石原、事務局/阿久
澤、竹内(役員計二十三名)

【議事】

吉池副代表理事が議長をつと
め、町田代表理事挨拶のもと、
第十一回理事会開会。

I. 報告連絡事項

1. 各支部・部会・委員会等の
案内報告

各組織担当者より、活動報告
や今後の計画、依頼事項などが
ありました。

II. 審議・承認事項

1. 後援依頼

第二十二回群馬県障害者技能
競技大会(ぐんまアビリンピッ
ク二〇二四)の後援依頼を承認
しました。

2. 第五十二回定時総会の概要
確認

四月十八日(木)開催予定の
第五十二回定時総会の概要が確
認されるとともに、講師(ハイ
デイ日高・神田会長)への依頼
経緯や講演内容などが佐藤富岡
安中支部長より紹介されまし
た。

3. 新年度スローガン案・重点
方針案・部門方針案の決定につ
いて

前回の意見交換を踏まえ、再
検討したスローガン・重点方針
案が総務会から提案され、これ
を承認しました。

また、部門方針案については
各組織担当者から説明・提案が
あり、これを承認しました。

4. 今年度活動報告案の決定

二〇二三年度の活動報告案が
総務会から提案され、これを承
認しました。

5. 事務局(事務局長)人事に
ついて

阿久澤事務局次長の事務局長
就任について総務会から提案が
あり、これを承認しました。ま
た、合わせて新事務局長より就
任の抱負などが述べられました。

6. 入退会者承認と仲間づくり
について

前回理事会以降の入会者一名
を承認。会員数は五三一名とな
りました。

III. 意見交換・その他

1. 意見交換

小坂橋経営労働委員長より
「委員会・部会活動への各支部
の協力と、そのメンバー選任の
あり方」について問題提起があ
り、理事会全体での意見交換と
情報共有を図りました。

2. 第十二回理事会の開催確認

次回理事会を左記の通り開催
することが確認され、議長は阿
久戸副代表理事が担当すること
になりました。

■日時/四月九日(火)
■会場/同友会事務所
+ ウェブ(併用)

環境を思う、未来を想う
あらためて誓う
上武印刷

優れた環境適応性。
より高精度で美しい仕上がり
「水なし印刷」システム
「水なし印刷」は、湿し水を使用せず有
害な廃液を0にし、その結果CO2を削減
します。環境への負荷が格段に少な
い印刷システムです。

ムダな廃棄物を出さない。
必要な時に必要な部数を
オンデマンド印刷
オンデマンド印刷は、「必要な時、必要
なだけ」の印刷でムダがなく、環境面
で優れています。また、印刷コストを抑
え、納期も短縮できます。

私たちは、環境にも、お客様にもやさしい企業を目指します。

群馬県環境GS認定事業所



上武印刷株式会社

〒370-0015 高崎市島野町890-25

TEL 027 (352) 7445 (代) E-mail eigyo@jp-t.co.jp
FAX 027 (352) 2953 (営業) URL http://www.jp-t.co.jp/



補助金 助成金 を活用して
勤怠管理システムを
導入してみませんか？

こんなことができるようになりますよ！

- ・ 残業時間の削減ができる
- ・ 勤務時間の集計がもっとラクになる
- ・ さまざまな雇用形態に対応できる
- ・ 有給休暇の管理がもっとラクになる
- ・ 脱ブラック企業！採用がしやすくなる



資料
請求

0120-26-1726

株式会社ナガシマ(伊勢崎支部所属)
〒372-0046 群馬県伊勢崎市三光町 3-10